

「さかなが捕れたヨ!」



未来の“ブレイリダー”!?
お姉さんも思いっきり川の中へドボン!!

子どもたちに生きる力を
育ててもらいたいですね



代表の小山登さん(66)は
自然の中で遊ぶ達人!
いろいろ聞いちゃおう



大きなキャンパスに思いっきり絵を描いたり、ロープにぶら下がったり…



「ケガと弁当は自分持ち」

今や全国的に広がりつつある、ブレイパーク(ブレイパー)。これは、自分の責任で自由に遊ぶをモットーに一切の禁止事項をなくした「冒険遊び場」のこと。ヨロロツパで生まれ、日本では昭和54年(1979年)に東京・世田谷に誕生しました。一般の公園と違い、一切の固定遊具を設けないことで子どもの遊びを限定しません。自然のものやダンボールを使って自由に組み立てたり、壊したり……子どもたちの本来持っている自由な創造力を生かし、自分たちで判断して泥んこになりながら

徹底的に遊びます。大人が決めるのではなく、子ども自身がやりたいことをみつけ、何が危なくてどこまでが許されるのか、体験を通して学んでいきます。今のおじいちゃん、おばあちゃんの世代が遊んでいたような遊びを再び取り戻すことで、現在少子化で失われつつある人とのふれあいや痛みが分かる、「生きた人間」づくりが可能になってくるのではないのでしょうか。

このような活動を参考に、広島で独自のブレイパークをつくらうとしている取り組みをご紹介します。

まずは、大人からふれあいを 寺山にブレイパークを つくらう会準備委員会 (安佐北区)

平成12年(2000年)、安佐北区にある可部高校の移転話が持ち上がった時、地元住民から「山藪^{やぶ}などの自然を生かした場もそこに設けてもらいたい」と、区役所に要望がありました。行政と住民が意見交換をするワークショップを開き、その中から、平成14年(2002年)8月、「寺山にブレイパークをつくらう会準備委員会」が立ち上がりました。東京・江戸川区や福山市新市町でブレイパークを運営している、赤川直美さんからアドバイスを受けながら、場所も寺山公園に絞っていきました。

む住民の理解、協力が欠かせません。平成14年(2002年)から、試行的に「日ブレイパーク」を開くようになり、これまでに4回実施しました。2回目からは、まず前日にブレイパークに関するビデオを見たり、赤川さんから体験談を聞いたりしながら、座学を行いました。そして当日、段ボールを使って遊んだり、べっこう館を作ったりしながら、1日たっぷりブレイパークを体験しました。毎回百人以上の親子が参加する中で、べっこう館づくりやけどをしたり、すり傷をつくったりする子どももありますが、「番話題になったケガは、なんと代表の小山登さん(66)！ロープを張って滑り降りたり、ぶら下がったりするターザンロープで、4週間のやけどを負ってしまったそうです。

ここでは、遊び場と資金は行政が提供、管理運営は地域住民の手で行う



きつね色に色がついたら、冷やします。簡単だけど丁寧な作業が必要になってくるべっこう館づくり



ラップやカッターナイフの刃に
気をつけながら、自分で作る
“ものづくり”は楽しいよ!

政の責任を問わない、という運営ルールにしています。

第3回「日ブレイパーク」の参加者、大崎しのぶさん(41)は、家族4人で参加。体験を通じて、「今思えば、私も子どもの頃危ないことをして遊びましたが、親は何も言わなかった。だから、子どもは何でも遊ぶことができた。あしろ、こうしろと親が口出ししないほうが良い」と思ったそうです。

ブレイパークには「ブレイリダー」とよばれる、子どもと大人、さらには住民や行政にも橋渡しができる人が必要です。子どもを守ることも、大人が何を子どもたちに言うのかを考え、子どもたちにきちんと説明する、大切な存在です。寺山のブレイパークはまだまだイベント的で、ブレイリダーを育てていくことが大きな課題と言えます。自分たちの責任で考え、子どもたちのアイデアから生まれていくブレイパークを一緒に創っていきませんか?



「見て見て。ボクたちの家ができたよ!」

あびぎブレイパークを つくる会(福山市)

代表 赤川 直美さん

少子化の中での子育ては、親同士のつながりが少なく、親、特に母親と子どもの関係が狭くなりがちで、気持ちに余裕がなくなっています。公園に遊びに行っても、子どもにお母さんが付きっきりで、何かおかしいと感じていました。

そんな時、子育てガイドブックでブレイパークの存在を知り、遊びに行きました。そこで、その現場を見てショックを受け、ブレイパークに通うようになりました。家から遠かったのですが、「家の近くに作ってみたい」という世話人の一言、近所に同じ思いを持つ仲間がいたこともあり、自分たちのブレイパークを作りました。

はじめは周囲でぼーっと見ている子どももありますが、慣れると彼らはすぐにはまっています。しかし、慣れるまで時間がかかるので、親の方がしびれをきらし、「うちの子には合いません」と来なくなることもあります。大人と子どもでは流

寺山のブレイパークづくりを
見守る赤川直美さん



「のこぎりは引かないと
切れないよ!」
「上手に切れるかな…」



れる時間の感覚が違います。まずは、大人がしっかりと見守り、子どもが落ち着いて遊びに没頭できる、環境づくりが必要ではないでしょうか。

Information
寺山にブレイパークをつくらう会準備委員会
TEL082-838-1620(代表 小山)
082-819-3905(安佐北区区政振興課)

どんなブレイパークに
なっていくのか楽しみな
寺山。手前は根の谷川



広島ของบริษัทが
そのオリジナリティを生かし、
市民に貴重な機会を提供している。

ひろしまの会社のおもしろPSPOT

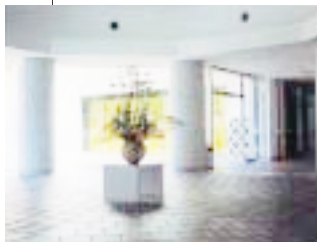
こだわりの
ミュージアム

今回は、そんな会社の
ちょっとユニークなミュージアムを
ご紹介します。



ガラスの里と三島食品から
すてきなプレゼントがあるヨ！
詳しくは26ページを見てね！

エントランスホール



ふりかけについて深く学んでみよう ふりかけ博物館 楠苑

広島市内から郊外へ車で1時間程度の山県郡千代田町には、平成3年（1991年）開館の珍しいふりかけ博物館「楠苑」があります。ここでは、南吉島にふりかけ工場のある三島食品などが加盟している、「全国ふりかけ協会」会員全16社の商品パッケージの展示、ふりかけの起源から製造過程までの説明が一般公開されています。企画展として、絵画や写真の展覧会も催されています。

日本人に身近で子どもの好きなふりかけ。遠出の時にお子さんと立ち寄ってみるのもいいかもしれません。



楠苑

■三島食品資料館 楠苑
山県郡千代田町有田3436 TEL0826-72-6788
開館時間／午前9時～午後4時、月曜休館
入 場 料／無料



昭和初期に使われていたガラスなど、約90点もの作品があり、ガラスの歴史を垣間見ることが出来ます。世界のガラス館では、グラスや花瓶、アクセサリもそろっていますので、おみやげに最適です。

異国情緒あふれるガラスのワンダーランド
ガラスの里
手芸用ビーズでは国内トップメーカーのトーホー(株)は、昭和59年（1984年）にガラスの里を、オープンしました。無料ゾーンにあるのは、ビーズ手芸工房やガラス工房など。別料金でビーズアクセサリやガラスのコップなどが作れます。童話の世界がガラス作品となって登場する、メルヘンの庭もあります。ミュージアムゾーン（有料）では、さまざまな作品を鑑賞できます。中でも世界現代ガラス美術館には、ピカソなど世界のガラス工芸作品が並んでいます。また、ガラス博物館では、江戸時代や



■トーホー ガラスの里
広島市安佐北区大林2-12-55
TEL082-818-0414 URL <http://www.garasunosato.net>
開館時間／午前9時～午後5時、12月28日～31日休館
入場料／ガラスの里入園料は無料。博物館、美術館は有料
(大人1000円、高校生700円、小・中学生500円)。団体(20人以上)は1割引

自動車の製造過程に童心を思い出す マツダミュージアム

広島県の自動車メーカー、マツダ(株)のマツダミュージアムでは、日頃なかなか見ることのできない車両や歴史展示、自動車の製造ラインなどが見学できます。エントランスホールでは、世界初のロータリーエンジン搭載車「コスモスポーツ」と、大人気のスポーツカー「ロードスター」が迎えられます。

ビジュアルとサウンドでマツダの心を紹介するシアター、車が出来るまでのプロセスを示した技術展示、三輪トラックから1991年ルマン優勝車までの歴史展示、水素自動車などの未来展示もあります。そしてU1組立ラインでは、自動車が組み立てられる、活気あふれる現場を上から見る事ができます。

予約すれば一人からでもOK、日本語ツアー(午前9時、午後1時)、英語案内(午後1時)もあります。



■マツダミュージアム
安芸郡府中町新地3-1 TEL082-286-5700
URL <http://www.mazda.co.jp/museum/>
開館時間／午前8時30分～11時、午後12時30分～3時30分、土日祝及びマツダ(株)休業日に休館
見学受付／希望日を含む6カ月前の月初めより受付(要電話予約)
入 場 料／無料



夫婦でプレーパークづくりを支える白石清子さん

実行委員長を務める白石興治さんの
仕事は、大工さん!
廃材を使っている基地づくりでは、白石プロの
アドバイスを受けながら、みんなで作ります



まだまだあるヨ、
プレーパーク

金輪島までは、宇品港からフェリーで渡らないといけません。桟橋の点呼作業もすべて子どもたちがします。目的地にたどり着いたら、まずは、清掃や草取りを行います。掃除がすんだら、釣りや散策を楽しむなど、好きな所と思うように遊びます。もちろん、モットーは自分のからだは自分で守ること。それともう一つ大切なのが、島に住んでいる人や働いている人に会ったら、しっかりとあいさつをすることです。現在、年に5回のペースで開催されるコンリントウ プレーパークでは、区民まつりでバザーに参加したり、あちこ



岡村マチ子さん
「自分にできることを
できる範囲で」

ちから廃材を集めてきて、少しずつ基地をつくっています。そんな自分たちの手でつくっていく、魅力あふれるプレーパークには、毎回40人近くの親子が参加しています。多い時は、70人も参加があり、フェリーに分かれて乗らなければならないほどでした。石井健一郎さん(67)を代表とするコンリントウ プレーパークの有志は、こういった子どもたちの自然体験をきっかけに、大人と子どもがかかわりを持ち、お互いの声を掛け合う昔ながらの温もりを地域に復活させよう、とのねらいを持っています。まず、大人自身が楽しみ、それを見た子どもが安心して楽しめる地域に……、大人が変われば子どもが変わる。それを宇品東から発信し、他の地域にも広げていきたい、そんなまちはづくりの思いを込めて「コンリントウ プレーパーク」は、これからも続いていきます。



その日に採った金輪島のタケノコを、さっそく「タケノコご飯」に



高畑広志さんは
日曜大工が得意



中心的存在の渡辺妙子さんと代表の石井健一郎さん

Information
コンリントウ プレーパーク実行委員会
TEL082-251-7779(代表 石井)
TEL082-254-4326(実行委員長 白石)

150回分のポスターがそろう様子は圧巻!



12月11日～23日の期間に行われた、藤井けいこさんと
“みまも”さんのイラストレーション展示「天からの贈り物」



レポートの“P”は、Philanthropy（フィランソ
ロピー・企業などが地域活動に参加すること）、
Peace（ピース・広島のアイデンティティーとし
ての平和）、Public（パブリック・公共に開かれ
ている）などの“P”をイメージしています。

ひろしまの会社の おもしろ Pレポート REPORT

地元アーティストの作品発表の場を提供する無料ギャラリー 松下電工(株)ナイスショールーム広島

照明器具や家電、健康機器などの
展示・体験できる、松下電工ナイス
ショールーム。全国に42店舗ある中の
一つ、「ナイスショールーム広島」には、
平成2年（1990年）3月から13年
間続いている市民ギャラリーがあり
ます。もともとは、今のショールーム
に移転後の初代所長・石田重夫さん
の発案で、ショールームの魅力づくり
によって集客力を高めようと企画さ
れたものでした。月1回約2週間の
期間で開催される展示会は、何と
160回を超える息の長い取り組
みとなっています。

市内オフィス街には、かつて、企業

が社屋やショールーム等を生かして
運営するギャラリースペースがいくつ
かありましたが、近年相次いで閉鎖
されてきました。そんな中で、利用
料を取らないで続いているこのギャラ
リー運営は、とても貴重な取り組み
であると言えます。

展示会場は、ショールーム2階の喫
茶室（約30㎡）の壁面をフルに活用
したもの。お茶を飲みながらゆつく
りと作品を楽しめるように、工
夫されています。出展内容は、プロ・
アマを問わず、広島に在住する作家
による革新的な作品群であること、
伝統工芸から現代アート、手芸作品



お茶しながら鑑賞できるのはウレシイ



松下電工 NAISショールーム広島

広島市中区中町7-1
TEL 082-247-5766
営業時間／午前10時～午後6時
定休日／水曜、祝日、GW、お盆
年末年始（12月27日～1月4日）

まちづくり市民交流プラザの
ななめ向いのビルです

など、幅広いジャンルを展示すること
が特徴です。中でもユニークだったのは、
石ころやマカロニ、100円ショップの商品
など生活に身近な素材をアイデア
と遊び心でアートにした作品展も実
施しました。今、第一線で活躍する多
くのアーティストも以前、このギャラ
リーに出展するなど、レベルの高いもの
となっています。松下電工の会社経営の
基本理念に、「社会に対しより新し
き価値の創設を期する」とあるよう
に、半年単位に組まれる企画内容は、
常にほかにはない創造性を感じさせ
てくれます。

平成14年（2002年）10月には
150回記念展を開催し、これまで
の出展作品のポスターを集めた貴重
な取り組みを、定着したファンと
ともに振り返ったそうです。「これま
で続けてきたものだからこそ、これ
からも守っていきたい」。地元アーテ
ィストの発掘と作品発表の場を提
供し続けてきた功績は、非常に大き
いものがあります。



1/15～染色作品

■ナイスギャラリー企画展
Mini Event 2004年1～3月
「染」～新しい出逢い～遊覧～
1月15日（木）～27日（火）
出展者：寺内敬治
奇抜なふたつの異種が不思議と融合芸
術となっている染色作品の展示。22歳
の作者の若い感性が感じられます。
「歩」～ふたりの絵画展～
2月5日（木）～17日（火）
出展者：北村明 珠実
二人とも絵画制作が趣味という夫婦
による出展。明氏は水彩画と短歌、
珠実氏は油絵で、自然の美しさの感
動を表現します。
「萌」～芽吹く命を描く～
3月11日（木）～23日（火）
出展者：葉柴寛昌・荒木孝子
植物が芽吹く姿や生きる姿を絵画に
表す作品。葉柴さんは果実や芽を描
き、荒木さんは道端の草花を描きます。

プロのアドバイスによる セルフエステを体験!!

ギャラリーのあるショールーム
を3階まで上がると、美容機器
の並ぶ小さなスペースがあります。
平成13年（2001年）にスター
トした「サロンド・エステジェヌ」。
松下電工のフェイシャルエステ機
器を無料で試用できるだけでな
く、専属のエステティシャンがカウ
ンセリングも行い、その日の体調
に合わせた丁寧なアドバイスを
してくれます。

当然ながら、女性を中心に密
かに人気を集め、今では1～2ヵ
月先まで予約が入っていて、1人
10回までの試用に
限定され
るという反
響ぶり。



一人ひとりに丁寧な対応をしてくれる





忍者のおきて
 一、忍者は礼儀正しい
 二、忍者は全員で行動する
 三、合言葉は全員で言う
 四、他のグループの忍者とは
 しゃべってはいけない
 五、走らない



修行の一つ“尾行”。子どもたちは真剣です



「こんにちは」歩く先々でいろんな人に出会う



「ガムテープマンが来た! 逃げなきゃ!!」
 ガムテープを貼られると50秒数えるまで
 動けません。大変!



打ち合わせの光景。子ども以上に楽しそうな大人たち! 左が三宅さん



子どもも大人も 楽々園公民館×美隅公民館(佐伯区) 楽しもう!

同じ楽々園学区にある楽々園公民館と美隅公民館。その近さから、共同で行事を行うことも少なくありません。核家族の転勤族も多い地域で、「子どもが異年齢で群れて遊ぶことが少なくなった」「世代を越えた交流が希薄」といった印象を抱いている大人たちも多いとのこと。しかし、公民館と住民がつくるさまざまな活動を通して、そんな印象が大きく変わろうとしています。今回は、そんな取り組みの一つをご紹介します。

大人も子どもも楽しむ 「忍者修行の旅」

公民館では、学校の週5日制施行に伴う受け皿としてさまざまな取り組みを行っています。その中でも、楽々園公民館では「こんなのをやってみよう」というプログラムを自分たちでつくっちゃおう! という講座を行い、その中から「忍者修行の旅」が生まれました。これは、子どもたちが忍者に扮し、与えられた「指令書」の指示に従って、町内の家や公園などでさまざまな修行・体験を行う楽しい企画。この「修行」を通して、子どもたちは、自分たちの住んでいる町を知り、住民とのコミュニケーションを学びます。遊びを通して地域や世代を越えた交流が生まれる……そんな笑顔あふれるすてきな取り組みは、どのようにして生まれたのでしょうか?

子どものために、そこが出発点

「忍者修行の旅」を提案した三宅真

和紙に墨で書かれた指令書。みんなで考えながら進みます



尾行される不審な男?
 (本元楽々園公民館長)



しました。2年目には、袋小路が多い美の里地区に舞台を移し、美隅公民館と共催することになりました。

「いかに心を開放して大人も子どもと一緒に遊ぶか」が秘訣

「忍者修行の旅」には、「仕掛け人」と呼ばれる、子どもたちと一緒に楽しんでもくれる大人たちがいます。「忍者」



指令書に従って見つけた第一の関所。合言葉は全員で言うのが決まり

「忍者修行の旅」の陰の立役者 秦景子さん



仕掛け人のお宅、中岡邸で年賀状を作る修行
 「ここにあるものを使って
 10分以内に年賀状を作りなさい」



います」「年上の子どもの手が取っていたりして、これまでと違った彼らを発見できました」と、大人たちもいろいろな気づきがあるようです。

このような公民館が仕掛けるさまざまな取り組みを利用して、大人も子どもも楽しめる地域に……そんなまちづくりが広がるといいですね。



美隅公民館の寺田久雄さんは、関所の番人。「私の心が読めるかな?」

楽々園公民館×美隅公民館 共催イベントのお知らせ

子どもワールド

今回で7回目になる、公民館まつりの子どもバージョン。子どもたちが主役となって企画し、バザーやワークショップを開催。

今回のテーマは「桃太郎」。段ボールで作った迷路、鬼ヶ島や、きびだんごのお菓子作りなど、各コーナーではテーマに沿ったイベントを散りばめます
 日時/2月15日(日)
 午前10時〜午後2時

場所/楽々園公民館



◆お問い合わせ◆
 楽々園公民館
 広島市佐伯区楽々園5-8-32
 TEL&FAX082・921・1404



◆お問い合わせ◆
 美隅公民館
 広島市佐伯区美の里2-1-25
 TEL&FAX082・923・0622